

資料 3

平成25年10月22日
気 象 庁

第127回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っています。

霧島山（新燃岳）では、平成23年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳火口直下の火山性地震は少ない状態で経過しています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量も、検出限界以下の量になっています。火口内の溶岩の状態には、特段の変化は認められません。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成23年12月以降鈍化・停滞しています。火口近傍を含め、他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口内にたまった溶岩は依然高温状態にあり、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っています。火口周辺では警戒してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。